

函館駅前若松一種市街地再開発

西松建設に決まる

事業費50億円、来秋にも着工

NAアーバン

約50億円を見込んでい

スペースや北海道銀行の

年春以降に入居者の募集

で16000〜21300平方
1750平方の広さで
調整している。
特定業務代行者の募集
には西松建設のみが応
募。4日に開いた選定委
員会で提案内容を審査し
た上、個人施行者のNA
アーバンデベロップメン
トが決めた。西松建設は
資金協力のほか、実施設

計、解体除却、建築、保
留床の処分、テナントの
幹旋（あつせん）なども
担う。
北海道新幹線が開業す
る15年度末までに、4階
以下の低層部を開業させ
る計画。その約半年後に
高層部（5階以上）を含
めたビル全体のオープン
を予定している。

代行者決定で、大きな一
歩を踏み出せる。今後
は、に言わいを創出する
テナントを集め、より魅
力的な組み合わせをきえ
たい」と説明。また「周
辺地区での投資の呼び水
になれば」とし、ビル再
開発をきっかけに中心市
街地の活性化に拍車がか
かることに期待してい
る。

【函館】NAアーバン
デベロップメント（函館
市若松町20の1、布村隆
二社長）は8日、和光ビ
ル建て替えを柱とする函
館駅前若松地区第一種市
街地再開発事業の特定業
務代行者を西松建設（東
京）に決めた。16日に協
定書を締結する予定。2
014年1月から現ビルの
解体を始め、14年秋の
着工を目指す。事業費は

施行区域は、JR函館
駅に面した0・5畝。業
務・商業、公益施設、共
同住宅を組み合わせたR
C道、地下1地上16階塔
屋1階、延べ約1万70
00平方の複合ビルと
し、駐車場約40台、駐輪
場は約110台のスペー
スを確保する。

地下と1、2階に商業
施設を配置。3、4階床
客らがバーチャル体験で
きる「はこだておもしろ
館」、子どもと保護者が遊
びながら交流する「子育
て世代活動支援プラザ」
をそれぞれ開設する。

5〜16階には共同住宅
84戸が入る。分譲事業者
はフージュースコーポレ
ーション（東京）で、14